



SDGs 活動報告

[埼玉本社]川越市立城南中学校 1 年生 20 名が企業見学にお越しいただきました

新報国マテリアル株式会社
SDGs 推進委員会

[埼玉本社]川越市立城南中学校 1 年生 20 名が企業見学にお越しいただきました

2023 年 11 月 14 日に川越市立城南中学校の 1 年生 20 名の生徒さんが、新報国マテリアル株式会社本社の見学にお越しいただきました。この企業見学会は、芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科中口毅博教授が「川越市立城南中学校」の総合的な探究の時間で進めている「SDGs すごろくの制作を通じての調査・探求活動」の一環として、自治会、地域の企業や施設などを調査し、クイズを制作するために行われるものでした。

当日は埼玉県民の日、学校はお休みでしたが、当社の見学を希望していただいた生徒さん 20 名と、引率の中口先生に、朝 9 時よりご来社いただきました。見学会前半は、会社概要の説明、三重工場での鋳物製造風景動画の視聴、当社製品と SDGs の関わりについてご説明し、後半は、研究部門と製造部門の見学をしていただきました。研究開発部の見学では、金属熱処理での温度体験として、700℃、と 1000℃ に加熱した金属の見た目の違いや、放射され、肌で感じる熱さの違いなどを感じていただき、金属の引張り試験では、金属が伸びながら細くなる様子や、破断時の音などを耳で聞いていただくことで金属試験を体感していただき、光学顕微鏡での金属観察では「金属の見た目はピカピカだけど…」エッチング処理により、金属組織が見えるようになることや、走査電子顕微鏡(SEM)のスペクトル分析を利用し、身近にある合金「ニッケル黄銅」と「白銅」を組み合わせで造られたものを、ニッケル、亜鉛、銅の元素分布を見ることで、成分の違いが分かること等、金属を調べるための方法を見学していただきました。そして、製造部門の見学では、CAD による製品の 3D モデルと、制作図面、実物の比較、三次元測定機での自動測定や、非破壊検査等を見学していただきました。今回の見学会を通して、新報国マテリアルでは、どの様に金属の研究が行われていて、どの様な製品がつけられているのか、そして、SDGs との関わりを短い時間でしたが、ご来社いただいた生徒さんにお伝えすることができました。川越市立城南中学校の 1 年生 20 名の生徒さんと中口先生には、学校がお休みの日にも関わらず、当社の見学にお越しいただきありがとうございました。地元の中学生と関わりをもてた貴重な機会でした。今後もこのような機会があれば、ご協力をさせていただきます所存です。



以上